

目次

概要

[Q. どのように VPN トンネルに送信される syslog のための ASA ソースインターフェイスを規定できますか。](#)

関連情報

概要

この資料に LAN-to-LAN VPN トンネル上の syslog を送信し、内部インターフェイス IP アドレスからそれらの syslog をソースをたどるために Cisco 適応性があるセキュリティ アプライアンス モデル (ASA) を設定する方法を記述されています。

Q. どのように VPN トンネルに送信される syslog のための ASA ソースインターフェイスを規定できますか。

A.

トンネルに送信される syslog トラフィックのソースをたどるために**管理アクセス** コマンドを入力しなさいインターフェイスを規定 するため。

システムにこのトポロジーおよび設定がある場合、続くコマンドを入力して下さい。

```
ASA# show run logging
logging enable
logging timestamp
logging trap debugging
logging host outside 198.51.100.123
```

この ASA の外部 IP アドレスから syslog トラフィックのソースをたどる設定の 試行。これはトンネル上のトラフィックを暗号化するために外部 IP アドレスが暗号 access-list に追加されることを必要とします。このコンフィギュレーション変更は特に syslog サーバ サブネットに向かう内部インターフェイス IP アドレスから送信されるトラフィックが既に暗号 access-list によって encrypted ために設定されて いれば最適ではないかもしれません。

ASA は規定される **管理アクセス** コマンドでインターフェイスからの VPN トンネルに送信されるべきサーバに向かう syslog トラフィックのソースをたどるために設定することができます。

この特定の例のためのこの設定を設定するために、最初に現在の logging host 設定を取除いて下さい:

```
ASA# show run logging
logging enable
logging timestamp
logging trap debugging
logging host outside 198.51.100.123
```

規定される 内部インターフェイスが付いているログ収集サーバおよび**管理アクセス** コマンドを再挿入して下さい:

```
ASA# show run logging
logging enable
logging timestamp
logging trap debugging
logging host outside 198.51.100.123
```

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)